

2010年度中部支部 通常総会

1. 開催日：2010年6月8日(火)
2. 場所：名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1番1号)
 地下鉄「日比野」または「西高蔵」下車徒歩約5分
 駐車場は約600台駐車可能(700円/1日1回)

3開催行事：

行事	時間	会場
研究発表会	9:50~11:40	2号館 3階234会議室
		2号館 3階232~233会議室
		2号館 2階224会議室
理事会	10:40~11:40	4号館 3階431~432会議室
通常総会	13:00~14:00	1号館 4階レセプションホール
先輩講話	14:10~15:00	1号館 4階レセプションホール 【一般公開】
特別講演会	15:10~16:30	
アトラクション	16:50~17:50	
会員パーティー	18:20~20:00	1号館 7階展望レストラン

- 4.参加費
- | | |
|--------------------|--|
| 通常総会(会員のみ) | 無料 |
| 特別講演会・先輩講話など(一般公開) | 無料 |
| 研究発表会 | 正会員 1,500円、学生会員 500円、
会員外(一般) 3,000円、会員外(学生) 1,000円 |

5. 通常総会
- ：(13:00~14:00)1号館4階 レセプションホール
- * 開会の辞
 - * 支部長挨拶 ①前支部長挨拶 ②新支部長挨拶
 - * 来賓挨拶
 - * 議長選出
 - * 議事

①2009年度	事業報告に関する件
②2009年度	会計決算報告に関する件
③2009年度	事業および会計監査報告に関する件
④2010~2011年度	中部支部役員に関する件
⑤2010年度	中部支部事業計画に関する件
⑥2010年度	中部支部会計予算に関する件
 - * 支部事業活動功労者に感謝状と記念品贈呈
 - * 本部フェローの贈呈
 - * 閉会の辞

6. 研究発表会

ご来場の際は、必ず2号館2階ロビー受付にお越し下さい。

(#:安全・環境 *:パワートレイン ※:シャシー・ボデー・エレクトロニクス他 項目)

セッション	会場	時間	テーマ	発表者
第1会場(安全・環境)	2号館3階 234会議室	9:50 ~10:10	STUDY OF HUMAN KINETICS BEHAVIOR AND INJURY MECHANISM IN PEDESTRIAN ACCIDENT WITH HUMAN FE MODERL #	豊田合成(株) セーフティシステム事業部 坂本 正也、蔡 毅
		10:10 ~10:30	豊田警察署管内の事故事例を 基にした死者低減の検討 -2008年事故の分析結果と2009年に 発生した事例の紹介-	トヨタ自動車(株) 車両技術開発部 塩田 誠
		10:30 ~10:50	自動車の工作物への衝突事故の 分析 #	スズキ(株) 四輪車両実験部 鈴木 陽介
		11:00 ~11:20	歩行者保護設計技術の基礎研究 #	関東自動車工業(株) 実験部 ジ 明
		11:20 ~11:40	ワイパ払拭性能評価手法の開発 #	アスモ(株) 開発部 土井 裕太
第2会場(パワートレイン)	2号館3階 232・233 3会議室	9:50 ~10:10	代替燃料がすべり軸受におよぼす 影響 *	大豊工業(株) 研究部 壺井 陽一郎
		10:10 ~10:30	回転を考慮した駆動系振動解析 *	三菱自動車エンジニアリング(株) デジタルエンジニアリング部 加藤 昭久
		10:30 ~10:50	自動車用エアフィルタの開発と アプリケーション *	トヨタ紡織(株) 第1FPT技術部 金 鎮喆
		11:00 ~11:20	3分割メタルトッフルーフシステム *	アイシン精機(株) 技術企画室 田野井 務
		11:20 ~11:40	植物由来樹脂のラジエータタンク への適用 *	(株)デンソー 材料技術部 後藤 伸哉
第3会場(シャシー・ボデー他)	2号館2階 224会議室	9:50 ~10:10	ハイブリッドシステムモデルに基づく 運転行動解析 ※	名古屋大学 機械理工学部 鈴木 達也
		10:10 ~10:30	新世代電気自動車 i-MiEVの開発 ※	三菱自動車工業(株) EV・パワートレインシステム技術部 小池 宏和
		10:30 ~10:50	耐熱・耐酸化性に優れた ナノ膜コーティング技術開発 ※	ヤマハ発動機(株) 材料技術部 高橋 尚久
		11:00 ~11:20	プリウス福祉車両の開発 -ルーフ上車いす格納装置- ※	トヨタ車体(株) 特装福祉開発部 柴田 芳人
		11:20 ~11:40	コンロッド軸受における異物排出性 向上の研究 ※	大同メタル工業(株) 第1Co設計開発室 幸島 元彦

7. 先輩講話 <<一般公開>>

講師: 三田村樂三氏

(顧問 元三菱自動車工業株)

演題: 「クルマの先輩から学ぶ: チーター、信天翁、海豚」

8. 特別講演会 <<一般公開>>

講師: 神崎亮平氏 (東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

演題: 「昆虫力を観る・知る・利用する-昆虫とロボットの融合-」

9. アトラクション <<一般公開>>

「今岡友美 ジャズトリオ」~天性の歌声で魅了する~

出演: ボーカル 今岡友美 ピアノ 中嶋美弥、ベース 名古屋 路一也

10. 会員パーティー

会員の方々の親睦を深めていただく良い機会ですので多数の方のご参加をお待ちしています。

2010ー第1回見学会

開催日時	2010年4月14日(水)13:30~16:30
会場	東レ(株)オートモーティブセンター
スケジュール	12:50 名鉄「神宮前」駅西口ロータリーをバスにて出発 13:30 挨拶、概要説明 13:50 見学 15:15 技術講演「炭素繊維複合材料の自動車への適用」 16:00 質疑応答 17:00 名鉄「神宮前」駅解散
概要	駐車場はありませんので支部手配のバスをご利用下さい。 (神宮前改札付近より事務局スタッフがご案内いたします)
集合場所	名鉄「神宮前」駅西口ロータリー
集合時間	12:45
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」を参照頂き、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年3月24日(水)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

2010ー第2回見学会

開催日時	2010年5月28日(金)13:15~17:15
会場	ジヤトコ(株) 第一事業所 CVT 工場
スケジュール	13:15 JR 新富士駅改札集合 (車の方は13:35に第一事業所警備室集合) 14:00 挨拶・概要説明 14:25 工場見学、質疑応答 15:50 技術講演 「ジヤトコのモノづくり・人づくり(技能塾)」 16:35 終了(車の方は解散) 17:15 JR 新富士駅解散
概要	駐車場あり
集合場所	JR 新富士駅改札口
集合時間	13:15

定員	50名
申込方法	下記「申込方法」をご参照頂き、必要事項をご記入の上、お申込下さい
申込締切日	2010年5月7日(金)
参加費	正会員(一般):1000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収致します。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行致します)

2010—第3回見学会

開催日時	2010年6月24日(木)13:00~16:30
会場	島津製作所(株) 本社 三条工場
スケジュール	13:00 集合・受付 13:10 挨拶・スケジュール説明 13:20 会社概要説明 13:30 工場見学 15:00 休憩 15:10 技術講演 最新技術「見える化」 <ul style="list-style-type: none"> ・X線透視/CT技術で物を壊さずに見る ・衝撃試験による物の壊れ方を高速に見る ・近赤外技術で人間の脳の働き方を見る ・発光強度計測技術でエンジンの燃焼を見る 16:30 解散
概要	駐車場はありません
集合場所	島津製作所本社研修センター 西大路御池駅「4番出口」徒歩5分
集合時間	13:00
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」をご参照頂き、必要事項をご記入の上、お申込下さい
申込締切日	2010年6月3日(木)
参加費	正会員(一般):1000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収致します。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行致します)

2010—第4回見学会

開催日時	2010年7月21日(水)14:00~16:30
会場	トヨタ自動車(株) 元町工場
スケジュール	1325 新豊田駅東出口集合

	14:00 工場見学 15:10 挨拶・質疑応答 15:45 講演 テーマ「トヨタ『マークX』の車両開発(仮)」質疑応答 17:00 新豊田駅解散
概要	駐車場はありません
集合場所	愛知環状線鉄道 新豊田駅東出口
集合時間	13:25
定員	80名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年6月30日(水)
参加費	正会員(一般):1000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収致します。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行致します)

2010—第5回見学会

開催日時	2010年9月22日(水)13:00~15:30
会場	航空自衛隊 浜松基地(浜松市西山町無番地)
スケジュール	12:25 浜松駅パンビ乗場集合 13:00 浜松広報館の見学 14:30 基地内見学(F-15 要撃戦闘機など) 基地資料館見学(旧軍展示品など) 16:30 基地出発 17:00 浜松駅解散
概要	駐車場はありません
集合場所	浜松駅パンビ乗場集合
集合時間	12:25
定員	40名
申込方法	添付の申込書にご記入の上、お申込下さい。(通常の申込書とは異なります。)
申込締切日	2010年8月24日(火)
参加費	正会員(一般):1000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収致します。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行致します)

2010—第6回見学会

開催日時	2010年10月15日(金)12:55~17:10
会場	三菱化学(株) 四日市事業所(四日市市東邦町1番地)
スケジュール	12:55 四日市駅集合・移動 13:30 挨拶・事業所概要説明 14:00 工場見学・質疑応答 16:00 講演「化学が作る『KAITEKI』なくるま(仮)」 16:30 質疑応答 17:10 近鉄四日市駅解散
概要	駐車場はありません
集合場所	近鉄四日市駅西口 市民公園
集合時間	12:55
定員	40名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年9月24日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

2010-第7回見学会

開催日時	2010年11月5日(金)12:40~16:30
会場	(株)ジェイテクト 奈良工場(橿原市十市町333番地)
スケジュール	12:40 大和八木駅集合・移動 13:15 会社および工場紹介 13:45 工場見学 15:05 講演会・質疑応答 13:00 「ステアリング技術とその将来(仮)」 16:30 大和八木駅解散
概要	駐車場はありません
集合場所	大和八木駅
集合時間	12:40
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上お申込み下さい。
申込締切日	2010年10月15日(金)

参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
------------	---

2010-第8回見学会(北陸地区対象研修会)

開催日時	2010年11月12日(金)10:00~16:40
会場	東レ(株) オートモーティブセンター, 名古屋銀行協会
スケジュール	10:00~11:40 工場見学(東レ(株) オートモーティブセンター) 12:20~13:00 昼食(名古屋銀行協会内レストラン) 13:00~16:40 自動車技術講習会(名古屋銀行協会) 16:50~ 帰路
集合場所	5:00 金沢駅、5:30 トランテックス、6:10 ジェイバス、7:00 北鯖江PA
定員	30名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年9月30日(木)
参加費	正会員(一般) 3,000円、会員外(一般) 7,000円、学生会員 1,000円、会員外(学生) 1,000円

2010-第9回見学会

開催日時	2010年12月10日(金)13:10~16:45
会場	日本車輛製造(株) 豊川製作所
スケジュール	13:10 受付(事務所棟1階ロビー) 13:20 会社概要説明 13:40 技術講演「鉄道車両の技術動向について(仮)」 14:30 質疑応答 15:00 工場見学 16:20 質疑応答 16:45 解散
概要	新幹線などの鉄道車両の製造工程
集合場所	日本車輛製造(株) 豊川製作所 事務所棟1階ロビー
集合時間	13:10
定員	30名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年11月12日(金)

参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
------------	--

2010-第10回見学会

開催日時	2011年1月19日(水)13:15~16:00
会場	トヨタ車体(株) 富士松工場
スケジュール	12:45 名鉄知立駅 アイシン精機バス駐車場集合 13:15 工場概要説明 13:45 生産ライン見学 15:00 講演会・質疑応答「新型プリウスの開発(仮)」 16:00 移動 16:20 名鉄知立駅解散
概要	生産ラインの見学(プリウス、ヴォクシー/ノア、エスティマ/エスティマHV)
集合場所	名鉄知立駅 アイシン精機バス駐車場集合
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年12月15日(水)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

2010-第11回見学会

開催日時	2011年2月18日(金)13:30~16:40
会場	大同特殊鋼(株) 知多工場
スケジュール	13:05 名鉄常滑・河和線 太田川駅集合・出発 13:30 会社概要説明 14:00 工場見学 16:00 技術講演「大同特殊鋼の製造プロセス(仮)」 16:30 質疑応答 17:00 解散
概要	製鋼工程、連铸工程、分塊圧延工程、小型圧延工程
集合場所	名鉄常滑・河和線 太田川駅西口
集合時間	13:05

定員	50名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年1月28日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

2010—第12回見学会

開催日時	2011年3月8日(火)13:30～16:30
会場	東海ゴム工業(株) 本社小牧製作所
スケジュール	12:55 JR中央線 春日井駅北口 集合・出発 13:30 会社概要説明 14:00 工場見学 15:30 技術講演「自動車用防振ゴムの技術動向」(仮) 16:00 質疑応答 17:00 春日井駅解散
概要	防振ゴム製造ライン, テクニカルセンター(評価施設), 技術研究所テクノピア(ショールーム)
集合場所	JR中央線 春日井駅北口
集合時間	12:55
定員	40名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年2月18日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

2010—第1回自動車技術講習会

開催日時	2010年9月17日(金)13:00～16:40
会場	(社)名古屋銀行協会 5階 大ホール(名古屋市中区丸の内2丁目4-2)
テーマ	『ハイブリッドシステムを支える電子技術』(仮題)
スケジュール	13:10～14:00 ①「HV及びPHVの進化を支える技術について」 松本 真一 氏〔トヨタ自動車(株) HVユニット開発部 部長〕 14:00～14:50 ②「ハイブリッド車におけるワイヤーハーネス技術」 松本 光弘 氏

	<p>〔矢崎総業(株) 自動車機器技術開発室 EVシステム開発設計センター 充電システム開発部 部長〕</p> <p>15:00～15:50 ③「自動車用 IGBTパワーモジュールの開発動向」 西浦 彰 氏</p> <p>〔富士電機システムズ(株) 半導体事業本部半導体統括部グループマネージャー〕</p> <p>15:50～16:40 ④「日立のハイブリッド電気自動車用リチウムイオン電池」 東本 晃二 氏</p> <p>〔日立ビークルエナジー(株) 設計開発本部 電池第一設計部 部長〕</p>
概要	<p>①「HV及びPHVの進化を支える技術について」 ハイブリッド技術は環境対応のコア技術である。地球温暖化対策の現実的なクルマとしてハイブリッド車(HV)、またハイブリッド車をベースに外部充電を可能としたプラグインハイブリッド車(PHEV)が有力である。今回、ハイブリッドの進化とそれを支えるインバータ、モータに採用されている技術について紹介する。</p> <p>②「ハイブリッド車におけるワイヤーハーネス技術」 近年の環境問題に対する様々な取り組みとして、自動車ではハイブリッド車の普及が急速に進んできた。ハイブリッド車に使用されるワイヤーハーネスは、従来の低電圧ワイヤーハーネスと異なり、高電圧大電流を通电するため、電線が太く重量も増加する。また、高電圧のために周辺の機器への影響や使用者への安全についての考慮も必要となる。今回は、この高電圧ワイヤーハーネスの技術について紹介する。</p> <p>③「自動車用 IGBTパワーモジュールの開発動向」 ハイブリッド自動車と電気自動車に代表されるように、自動車の動力源に電動モータの重要性が増大している。これらのモータを駆動するための電力変換システム(インバータ)はIGBTモジュールを代表とするパワーモジュールにより構成されている。本講演ではIGBTモジュールの開発の歴史を踏まえ、今後のパワーデバイスの開発動向及びキーとなる信頼性向上技術、放熱性向上技術について解説する。</p> <p>④「日立のハイブリッド電気自動車用リチウムイオン電池」 ハイブリッド電気自動車用のリチウムイオン電池が脚光を浴びて日々報道されている。このような状況において、この分野に対するこれまでの日立の取り組みを説明すると共に、(1)開発した電池特性、(2)モジュール、コントローラの説明、(3)量産ラインの状況、(4)今後の製品開発の取り組みについて紹介する。</p>
集合時間	13:10
定員	180名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年8月27日(金)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

開催日時	2011年1月25日(火)13:00~16:40
会場	刈谷市産業振興センター 7階 小ホール (刈谷市相生町1丁目1番地6)
テーマ	これからの社会に求められるモビリティと技術
スケジュール	<p>13:10~13:55 「TOTOのユニバーサルデザイン ~多様な人の行動観察からの製品づくり~」 江藤 祐子 氏 [TOTO(株) マーケティング本部 UD推進部 企画主幹]</p> <p>13:55~14:40 「パーソナルモビリティ i-REAL」 森田 真 氏 [トヨタ自動車(株) BR-EV 開発室 (兼)制御システム先行開発部 主幹]</p> <p>14:40~15:00 i-REAL 実車紹介</p> <p>15:10~15:55 「加齢に伴う身体機能低下からみたモビリティ(移動手段)支援のあり方」 植松 光俊 氏 [星城大学大学院 健康支援学研究科 研究科長]</p> <p>15:55~16:40 「ロボット工学によるパーソナルモビリティ知能化技術」 古田 貫之 氏 [千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 所長]</p>
概要	<p>①「TOTOのユニバーサルデザイン~多様な人の行動観察からの製品づくり~」 水まわりは毎日の生活に密着し、子どもから高齢者・障がい者まで誰もが当たり前、自分らしく快適に行動したい空間である。 そのため、TOTOは生活者の気持ちや行動に着目し、生活者との対話や観察から得られた気づきを、製品づくりに生かすことを基本としている。利用者視点のユニバーサルデザインの取り組み姿勢と開発事例を紹介する。</p> <p>②「パーソナルモビリティ i-REAL」 i-REALは、一人が小さな消費エネルギー、少ないCO2排出量で街を自由に動く、より“人”に近づいたパーソナルモビリティである。 i-REALのねらいやコンセプト、織り込んだ機能や技術など車両の概要について紹介する。当日は、セントレアで実証実験を行った実車も見えていただける様、計画中(※)。</p> <p>③「加齢に伴う身体機能低下からみたモビリティ(移動手段)支援のあり方」 サクセスフル&スマートエイジング思想ニーズ、加齢による身体機能・歩行能力低下特性及び転倒予防方略プログラムのあり方、転倒予防・介護予防を目指した「転倒リスクレベル別運動器機能向上プログラムのすすめ」、歩行解析アドバイスシステムツール「歩ビゲーター」の開発コンセプトの提示、要介護者・介護者支援のためのモビリティ支援機器の開発動向からみたモビリティのあり方を提案する。</p> <p>④「ロボット工学によるパーソナルモビリティ知能化技術」 ステレオビジョン、レーザー測域センサ等による環境情報取得とそれに基づく障害物自動回避等、ロボット技術を応用したパーソナルモビリティの知能化技術および、駆動系構築を容易にするインテリジェントモータドライブユニット等の要素部品の事例を紹介する。さらに、パーソナルモビリティが拓く未来の街とサービスの構想について、現在取り組んでいる国家プロジェクトの内容を交えて紹介を行う。</p>

定員	180名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年12月23日(木)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

2010—第1回技術講習会

開催日時	2010年11月12日(金)13:00~16:20
会場	(社)名古屋銀行協会 5階 大ホール(名古屋市中区丸の内2丁目4-2)
テーマ	スポーツカーに求められる性能・技術・魅力
スケジュール	<p>13:10 ~ 14:10 フェアレディZの操安性能について -日産のスポーツカーへの思い- 金子 敏志 氏 〔日産自動車(株) 車両実験部 ダイナミックパフォーマンス実験グループ 主担〕</p> <p>14:10 ~ 15:10 ハイブリッドスポーツ誕生ストーリー -本田のスポーツカーへの思い- 友部 了夫 氏 〔(株)本田技術研究所 四輪 R&D センター 主任研究員〕</p> <p>15:20 ~ 16:20 LFAの官能性能 -LEXUSのスポーツカーへの思い- 棚橋 晴彦 氏 〔トヨタ自動車(株) レクサス開発センター チーフエンジニア〕</p>
概要	<p>①フェアレディZの操安性能について 日産を代表するスポーツカーであるフェアレディZは、代々運転することの楽しさを大切に、後脚で蹴り上げ、前脚で向きをコントロールする、フロントエンジンリアドライブレイアウトを採用している。—昨年発表したZ34型では前型に対し、100mmのショートホイールベース化を行い、更なる運動性能の向上を図った。本講演では、スペックだけでは語れない操安性能を支える様々な技術について紹介する。</p> <p>②ハイブリッドスポーツ誕生ストーリー 本田は新たなハイブリッドカーに挑戦した。「ハイブリッドカーをエコで終わらせるな」と、新時代のスモールスポーツ誕生。その想いから世界に先駆けた本田の提案。Emotional(所有する喜び)、Exciting(運転する喜び)、Smart(自由を楽しむ喜び)をキーワードに、ハイブリッドカーの可能性を拓く、ワクワクとした喜びを創造した。これからの時代をアクティブに駆け抜け、ライフスタイルをいっそう豊かにする Honda Green Machine 003号 CR-Z 誕生ストーリーについて紹介する。</p> <p>③LFAの官能性能 人の「感性」に訴えることの意味合いは、とりわけスポーツカーにとっては重要な価値である。人の心に触れ、精神を高揚させることが、スポーツカーではもっとも大切な価値であるからである。LEXUS LFAはこの「感性」に訴える性能、つまり「官能性能」に徹底的にこだわって開発してきた。今回その一端を紹介する。</p>

集合時間	13:00
定員	140名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年10月22日(金)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

2010—第2回技術講習会

開催日時	2011年3月18日(金)13:00~16:20
会場	刈谷市産業振興センター 7階 小ホール (刈谷市相生町1丁目1番地6)
テーマ	『車重の大きい環境車(PHV、EV、FCHV)の乗り心地—操縦安定性—』
スケジュール	<p>13:10~14:10 「操縦安定性と乗心地の基礎理論」 堀内 伸一郎 氏〔日本大学 理工学部 機械工学科 教授〕</p> <p>14:10~15:10 「i-MiEVの操縦安定性・乗心地」 佐藤 康充 氏〔三菱自動車工業(株) 開発本部 機能実験部 エキスパート〕</p> <p>15:20~16:20 「次世代電気駆動車の操縦安定性・乗心地」 山本 真規 氏〔トヨタ自動車(株) 第1シャシー開発部 SSE〕</p>
概要	<p>①「操縦安定性と乗心地の基礎理論」 簡単な車両モデルに基づく操縦安定性と振動乗心地の基礎的な理論を平易に解説する。まず、操縦安定性を考える際の基礎となる平面2輪モデルを誘導し、それに基づき定常円旋回特性(US/OS特性)、過渡応答特性などを検討する。続いて1/4車両モデルと呼ばれる簡単な振動モデルに基づき、ばね下質量、ばね定数、減衰係数などの変化が振動乗心地に及ぼす影響を説明する。</p> <p>②「i-MiEVの操縦安定性・乗心地」 i-MiEVは、先行して発売したガソリン車をベースに企画された。軽量な車ゆえに車両重量の増加が車両挙動により多くの影響を与えるという不利な条件の下、ベース車両の特徴をいかしつつ、軽規格という限られたパッケージングでの前後車軸間のバッテリー配置など、EV車ならではの質量分布がもたらすとも言える操縦安定性・乗心地の成り立ちを紹介する。</p> <p>③「次世代電気駆動車の操縦安定性・乗心地」 環境技術として脚光を浴びる電気駆動車は、動力源の革新というだけでなく、車両の慣性諸元やパッケージング、運動制御などにも大きな変革をもたらす。ここでは、それらによる操縦安定性や乗心地への影響について考察するとともに、次世代技術として注目されるインホイールモータ駆動車の運動性能についても紹介する。</p>
定員	140名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年2月25日(金)

参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料
-----	---

2010-第1回地区講習会(三島市)

開催日時	2010年7月23日(金)13:00~16:20
会場	東レ(株) 総合研修センター(静岡県三島市末広町21-9)
テーマ	自動車の環境対応技術~電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の現状と今後~
スケジュール	<p>13:00 開会あいさつ</p> <p>13:10~14:10 「電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の普及に向けた経済産業省の取り組み」 松垣 元彦 氏 [経済産業省 製造産業局 自動車課 係長]</p> <p>14:10~15:10 「新世代電気自動車 i-MiEV とその駆動用モータシステムの開発」 石丸 英児 氏 [三菱自動車工業(株) 開発本部 EV・パワーtrainシステム技術部 エキスパート]</p> <p>15:20~16:20 「自動車用リチウムイオン電池の開発状況」 内海 和明 氏 [オートモティブエナジーサプライ(株) 開発部 エグゼクティブエキスパート]</p>
概要	<p>CO2削減・石油消費削減・大気汚染防止に対応する技術として電気自動車・プラグインハイブリッド自動車が注目され、量産に向けた取組みが本格化している。</p> <p>そこで、電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及に向けた最新の取組みと対応技術を紹介し、今後のあり方について考える。</p>
集合時間	13:00
定員	120名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年7月2日(金)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

2010-第2回地区講習会(浜松市)

開催日時	2010年12月3日(金)13:00~16:20
会場	浜松市可美公園総合センターホール (静岡県浜松市南区増楽町920番地の2 TEL(053)449-1155)
テーマ	自動車の環境対応技術~燃費向上技術の最前線~
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会あいさつ</p>

	<p>13:10～14:10</p> <p>(1)マツダの次世代パワートレインにおける燃費改善技術 鈴木 敬 氏 [マツダ(株) パワートレイン開発本部 パワートレイン企画部 主幹]</p> <p>14:10～15:10</p> <p>(2)日産のエコドライブ技術 村上 賢一郎 氏 [日産自動車(株) パワートレイン開発本部 パワートレイン性能開発部 主担]</p> <p>15:20～16:20</p> <p>(3)NanoPro-TechTM による低燃費タイヤ用ゴムの開発 山口 健 氏 [(株)ブリヂストン タイヤ材料開発本部 材料評価技術開発ユニット フェロー]</p>
概要	<p>(1)2011 年から導入を予定している新開発パワートレインユニットの技術概要について紹介する。ハイブリッド自動車や電気自動車が増えては来られる中、何故マツダは内燃機関に力を入れるのか？ ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、駆動系の理想をどう考え、何をブレークスルーして進化を実現させたかについて紹介する。</p> <p>(2)近年、地球温暖化防止に向けた温室効果ガスの排出抑制が地球規模で取り組むべき課題となっており、自動車業界においても様々な観点から燃費改善が検討されている。日産自動車では、走行時の CO2 排出量の低減を最重要課題のひとつと捉え、『社会』、『人』、『クルマ』からなるトリプルレイヤードアプローチによって、様々なエコドライブ技術の開発に取り組んでいる。今回これらの技術について最新の事例を交えて紹介する。</p> <p>(3)近年の省エネルギーに代表される環境負荷低減を実現する為に、企業の社会的責任が注目されている。タイヤ業界においても、タイヤグレーディング制度の導入等、低燃費化を積極的に推進している。今回は当社の材料技術である NanoPro-TechTM を採用した環境対応商品である ECOPIA シリーズの開発事例を通し、最新の低燃費タイヤ用トレッドゴム開発技術について紹介する。</p>
定員	120 名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010 年 11 月 12 日(金)
参加費	正会員(一般)2,000 円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000 円、会員外(学生)無料

2010-中堅技術者懇談会（1泊2日）

開催日時	2010 年 10 月 7 日(木)～2010 年 10 月 8 日(金)
会場	(株)デンソー 浜名湖研修所(静岡県浜松市三ヶ日町都筑 607-7)
スケジュール	<p>【1日目】</p> <p>10:00～10:30 オリエンテーション(挨拶・スケジュール説明など)</p> <p>10:30～12:00 講演:「中堅技術者に期待すること(仮)」</p> <p>12:00～13:00 昼食</p>

	<p>13:00～17:00 グループ討議(5グループ)</p> <p>17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食</p> <p>19:30～22:00 自由討議、名刺交換</p> <p>【2日目】</p> <p>7:00～ 8:00 朝食</p> <p>8:30～12:00 グループ討議まとめ</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～15:40 グループ発表(5グループ)</p> <p>15:40～16:30 閉会、アンケート記入</p> <p>技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くとともに、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p>
概要	<p>《2009 年度参加者の声》</p> <p>中堅技術者懇談会への参加動機は、討議テーマ「中堅技術者の悩みと解決法」を通じて、同業他社であり同世代でもある方々と交流しながら、日頃の悩みについて意見交換できる貴重な機会と考えたためです。実際に討議では、自分達が若手から“中堅・リーダー世代”になり、業務内容や家庭環境が変わりゆく中での様々な悩み・工夫点を共有しました。特に、限られた時間の中でも上司・部下と気持ち良く効率的に業務を進めるためにはどうすれば良いか？について、体験談を交えじっくりと語り合うことができました。</p> <p>同世代の方々が自分同様に悩みを抱えていることを知り、また工夫点を共有できたことが、私の不安を安堵から自信・次への活力へと変えていきました。懇談会冒頭に拝聴した講演と討議内容が関連していたことも効果的で、全体を通して大変有意義なひと時を過ごすことができました。</p> <p>今後は、本経験を若手メンバーに伝え、チームの更なるレベルアップを図りたいと考えます。</p> <p>トヨタ自動車(株)東富士研究所 ドライブトレイン先行開発部 江淵 弘章</p>
定員	50名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年7月16日(金)
参加費	8,000円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る(35歳前後の中堅技術者)

2010ー若手技術者懇談会（1泊2日）

開催日時	2010年11月18日(木)～2010年11月19日(金)
会場	(株)デンソー 浜名湖研修所(静岡県三ヶ日町都筑607-7)

スケジュール	<p>【1日目】</p> <p>10:00～10:30 オリエンテーション(挨拶・スケジュール説明など)</p> <p>10:30～12:00 講演:「いつも変わらない夢があった」 鈴木 正人 氏(人力飛行機「チームエアロセプシー」リーダー) 〔ヤマハ発動機㈱ 上海 R&D 総経理〕</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～17:00 グループ討議(5グループ)</p> <p>17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食</p> <p>19:30～22:00 自由討議、名刺交換</p> <p>【2日目】</p> <p>7:00 ～ 8:00 朝食</p> <p>8:30 ～12:00 グループ討議まとめ</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～15:40 グループ発表(5グループ)</p> <p>15:40～16:30 閉会、アンケート記入</p>
概要	<p>《2009 年度参加者の声》</p> <p>まず、皆様に感謝をしたいと思います。自動車技術会中部支部のスタッフの皆さん、「気づきの場の提供をして頂きました」ありがとうございました。一緒に参画した若手技術者の皆さん、「社会人として共通した悩み、技術者としての悩み、職種特有の悩み等を伺うことで自分自身の視野と心の狭さを気づかせて頂きました」ありがとうございました。</p> <p>懇談会後は、以前とは違った自分であり、成長した自分であることが実感できました。</p> <p>つまり「懇談会の場＝人間を成長させる場」となっていました。また懇談会の最後に「悩みを解決するために各自の行動宣言を行ない」現在も実践しています。気づきを行動に移し、継続させ習慣にしていくことは難しく大事なことです。今後は、同じ悩みを持つ同僚や後輩に対し相談に乗りつつ、自動車業界の発展に貢献できるよう日々精進していきたいと思っています。</p> <p>(株)デンソー 電子基盤技術開発室 松本 栄一</p>
集合時間	10:00
定員	50 名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010 年 9 月 10 日(金)
参加費	8,000 円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る(25～29 歳の若手技術者)

2010—第1回技術交流会

開催日時	2010年7月28日(水)13:00~18:20
会場	刈谷市産業振興センター(刈谷市相生町1-1-6)
テーマ	EV普及への道のり
スケジュール	<p>《第1部 パネルディスカッション》</p> <p>13:05~13:45 ①EVの現状と展望 プラグインステラを例に、EV構築課程で現れた問題点とその解決方法の紹介 桜井 正人 氏 [富士重工業 ハイブリッド開発部 主事]</p> <p>13:45~14:25 ②バッテリーの課題 バッテリーについて、カスケード型リユースシステムの メリットや課題および実施例の紹介 三村 真宗 氏 [ベタープレイス・ジャパン 事業開発本部 本部長]</p> <p>14:35~15:15 ③充電インフラの課題 “smart oasis”を基にした社会実験の紹介、インフラの 整備に関する必要技術と社会的課題の紹介 竹田 幸博 氏 [日本ユニシス エネルギー事業部 営業3部 部長]</p> <p>15:15~15:55 ④制御がもたらすEVの可能性 モータと制御の改良によるEVのモビリティとしての 魅力拡大の可能性に関する紹介 藤本 博志 氏 [東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授]</p> <p>15:55~16:55 全体討議</p> <p>《第2部》</p> <p>17:00~18:20 意見交換会</p>
概要	電気自動車(EV)は、環境課題解決の有力な手段であると同時に、車両制御の観点からも魅力的な性能を実現できる未来モビリティとして 多くの可能性を持っている。今回は、EVの現状を踏まえながら今後EVを 普及させるために解決が必要な課題について、専門家にご講演頂くと 共に関連技術者同士の意見交換を行いたい。
集合時間	13:00
定員	40名程度
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年7月7日(水)
参加費	正会員(一般)3,000円、正会員(学生)1,000円

2010—第2回技術交流会

開催日時	2010年10月26日(火)13:00~18:20
------	---------------------------

会場	アイシン年金基金会館
テーマ	エコと安全を支えるタイヤ
スケジュール	<p>《第1部 パネルディスカッション》</p> <p>13:05～13:45 ①自動車におけるタイヤの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両運動から見たタイヤの役割、性能評価方法、今後の課題などの概説 <p>水野 雅彦 氏〔豊田中央研究所 知的財産部 情報管理室 主任研究員〕</p> <p>13:45～14:25 ②技術革新の歴史、構造とその働き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤの技術革新の歴史、その構造と機能、また"Twheel", "Active Wheel"等の新技術などを合わせて紹介 <p>有馬 衛二 氏〔日本ミシュランタイヤ OEプロダクトマーケティング部 部長〕</p> <p>14:35～15:15 ③低燃費タイヤ用ゴムの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転がり抵抗と湿潤路面制動性能改良に対する材料面からの取組みを、"NanoPro -Tech"をベースに発生機構も含めて紹介 <p>山口 健 氏〔ブリヂストン タイヤ材料開発本部 材料評価技術開発ユニット フェロー〕</p> <p>15:15～15:55 ④タイヤ用材料の脱石油取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯渇する資源に頼らない材料を目指し、安全性・耐久性の課題を克服するために改質天然ゴムを適用した取組みを紹介 <p>和田 孝雄 氏 〔住友ゴム工業株式会社 材料第二部 主査〕</p> <p>15:55～16:55 全体討議</p> <p>《第2部》</p> <p>17:00～18:20 意見交換会(参加者全員)</p>
概要	<p>自動車用タイヤの分野では近年、転がり抵抗低減や高速停止距離短縮、あるいは、ランフラットタイヤの開発など燃費や安全に寄与する取組みが進み、同時に材料面でも脱石油を目指したエコ化が進んでいる。今回は、タイヤの現状を踏まえながら更なる燃費改善や安全性向上のために自動車として解決すべき課題について、専門家の講演を頂くと共に関連技術者同士の意見交換を行いたい。</p>
集合時間	13:00
定員	約40名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年10月5日(火)
参加費	正会員(一般)3,000円、正会員(学生)1,000円

2010—第3回技術交流会

開催日時	2011年2月25日(金)13:00～18:20
------	--------------------------

会場	アイシン年金基金会館 安城市三河安城東町2-8-1
テーマ	進化を続ける二輪車
スケジュール	<p>《第1部 パネルディスカッション》</p> <p>13:05～13:45 ①エンジン関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音対策を含め大型車用エンジンを中心に、特に四輪車向け技術との違いなどを紹介 <p>大野 貴洋 氏 〔川崎重工業(株) モーターサイクル&エンジンカンパニー技術本部 第一設計部第三課 主事〕</p> <p>市 聡顕 氏 〔同 第二設計部第一課 主事〕</p> <p>13:45～14:25 ②フレーム・シャシ関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミフレームを中心に、四輪車とは異なる二輪車固有の技術などを紹介 <p>松本 義信 氏 〔スズキ(株) 二輪車体電装設計部車体設計第一課 課長〕</p> <p>14:35～15:15 ③エンジン関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型車を中心に、省燃費・排ガス対応技術などを、また同時に東南アジアでの使用状況、現地生産の課題なども紹介 <p>堀 良昭 氏 〔(株)本田技術研究所 二輪 R&D センター 第1商品開発室第1ブロック Senior Manager〕</p> <p>15:15～15:55 ④電動二輪車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動二輪車固有の技術、中国の電動二輪車の事情など、可能であれば日本の法規制動向なども紹介 <p>寺田 潤史 氏 〔ヤマハ発動機(株) SP 事業推進統括部 EV 事業推進部 EV 開発部 グループリーダー〕</p> <p>15:55～16:55 全体討議</p> <p>《第2部》</p> <p>17:00～18:20 意見交換会(参加者全員)</p>
概要	<p>二輪車は、日本の重要な工業製品であり今や世界中で生産されるようになっているが、近年大きく環境が変わりつつある。四輪車と同様の「CO2削減」「電動化」などの課題に加え、「振動・騒音」「衝突安全」などへの対応が要求されるようになり、更に、新興国の台頭・現地生産など設計・生産両面で課題は多い。このような環境下で、日本発の二輪車が世界の主流であり続けるためには、いかなる課題を克服する必要があるか意見交換を行いたい。</p>
定員	40名程度
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2011年2月4日(金)
参加費	正会員(一般)3,000円、正会員(学生)1,000円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る、駐車場の要領が少ないので車での参加は極力ご遠慮下さい。

2010年度学自研行事

委員長校 名古屋工業大学

副委員長校 静岡大学

開催年月	行 事 名	開催場所 (担当大学)	参加校
2010年 5月8日(土)	新入生ものづくりイベント	豊橋技術科学大学 (豊橋技術科学大学・静岡大学)	参加校 5校 参加人員 45人
5月22日(土)	学生委員会	名古屋工業大学 (名古屋工業大学/本年度委員長校)	参加校 10校 参加人員 15人
6月25日(土)	参与会・学生会	名古屋工業大学 (豊橋技科大/前年度委員長校)	参加校 11校 参加人員 23人
7月3日(土)	走行技術トレーニング (東海地区)	小笠山総合運動公園エコパ (静岡理工大学・岐阜大学)	参加校 10校 参加人員 187人
8月3日(火)～ 4日(水)	3支部合同 学生フォーミュラ試走会	富士スピードウェイ	中部支部 参加校 8校 参加人員 約120人
10月9日 (土)	自動車テクニカルセミナー (溶接編)	神鋼溶接サービス株式会社 溶接研修センター (金沢大学・金沢工業大学)	参加校 10校 参加人員 20人
11月13日 (土)	学生委員会	名古屋工業大学 (名古屋工業大学/委員長校)	参加校 8校 参加人員 11人
11月23日 (火)	自動車テクニカルセミナー (ブレーキ編)	アドヴィックス㈱ 刈谷工場 (名古屋大学)	参加校 5校 参加人員 10人
11月27日 (土)	走行技術トレーニング	ヤマハリゾートつま恋カートコース (岐阜大学、静岡理工科大学)	参加校 6校 参加人員 36人
12月11日 (土)	四輪駆動車試乗会	さなげアドベンチャーフィールド (愛知工業大学)	参加校 4校 参加人員 21人
12月18日 (土)	学生フォーミュラ 車輛テスト走行会	小笠山総合運動公園エコパ (静岡理工大学・岐阜大学)	参加校 6校 参加人員 62人
2011年 2月5日 (土)	参与会・学生委員会 支部学自研大会 ・研究発表会 ・特別講演会	名古屋工業大学 (名古屋工業大学/委員長校)	参加校 13校 参加人員 24人 参加校 9校 参加人員 51人
2月12日 (土)	自動車テクニカルセミナー (電装編)	豊橋技術科学大学 (豊橋技術科学大学)	参加校 4校 参加人員 17人
3月3日(木) ～4日(金)	学自研学生と社会人技術 者との懇談会 (1泊)	トヨタL&Fカンパニー トレーニングセンター・高浜工場 (大同大学・名城大学)	参加校 6校 参加人員 26人
3月6日(日)	走行技術トレーニング	ヤマハリゾートつま恋カート コース (岐阜大学、静岡理工科大学)	参加校 9校 参加人員 52人